

軽井沢絵本の森美術館 2022年 秋冬展

アーサー・ラッカムと「ギフト・ブック」の時代

2022年10月14日～2023年1月9日（月）

19世紀末頃から20世紀初めに出版されていた、豪華な装飾の挿絵本「ギフト・ブック」。この「ギフト・ブック」挿絵画家の代表格がイギリスのアーサー・ラッカムです。

ラッカムが挿絵をつけた『グリム童話』（1900年）や『ケンジントン公園のピーター・パン』（1906年）、『不思議の国のアリス』（1907年）は、主にクリスマスプレゼントとして大変な人気を博しました。このように「ギフト・ブック」の主な内容は、「グリム童話」をはじめとする昔話や、「アンデルセン童話」といった児童文学であり、絵本の歴史において一時代を築いた作品でもあります。

本展では、アーサー・ラッカムの挿絵の魅力にせまりながら、「ギフト・ブック」の時代を振り返ります。

このほか、当館の収蔵品の中から貴重な60点以上の挿絵本と、ラッカムと同時代に活躍した画家であるロビンソン三兄弟、レズリー・ブルックらの原画も展示いたします。



アーサー・ラッカム画「食料品屋のこびと」
『アンデルセン童話集 (Fairy Tales by Hans Andersen)』1932年刊

【企画展概要】

タイトル	2022年秋冬展 アーサー・ラッカムと「ギフト・ブック」の時代
会期	2022年10月14日（金）～2023年1月9日（月）
場所	ムーゼの森 軽井沢絵本の森美術館 第2展示館
開館情報	<p>◆開館時間 【10月】9：30～17：00（最終入館は閉館の30分前） 【11月～1月】10：00～16：00（最終入館は閉館の30分前）</p> <p>◆休館日 【10月・11月】火曜日 【12月】火～金曜日 ※12/28（水）～12/31（土）は開館 【1月】1/1（日）、1/4（水）～1/6（金） ※1/10（火）～2/28（火）は冬季休館</p> <p>◆入館料 大人950円、中・高生600円、小学生450円、小学生未満無料 【エルツおもちゃ博物館とのセット券】大人1,400円、中・高生900円、小学生650円、小学生未満無料 ※新型コロナウイルス対策として、急遽開館日や内容が変更される場合がございます。 必ずホームページをご確認ください。</p>

軽井沢絵本の森美術館 2022年 秋冬展 アーサー・ラッカムと「ギフト・ブック」の時代

プレスリリース

2022年10月14日（金）～2022年1月9日（月）

展示の見どころ

・貴重な「ギフト・ブック」の数々が見られる

「ギフト・ブック」は、たいへん美しく高価な絵本です。当時のイギリスの芸術運動の影響を受けているため、その装丁自体が芸術品となっています。贈り物として喜ばれていた本の「特別感」をご堪能ください。



左：19世紀末～20世紀初頭のギフト・ブックの数々
右：重厚感のあるラッカムの『イソップ寓話』（1912年）



アーサー・ラッカム画
『シンデレラ』
(1919年)



アーサー・ラッカム画
『たのしい川辺』
(1940年)

・ラッカムの「成功」も「苦悩」も知ることができる

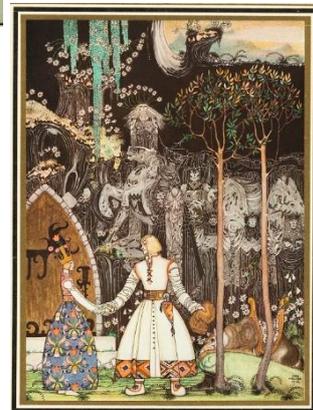
『リップ・ヴァン・ウィンクル』刊行（1905年）以降、画家として華々しい活躍を収めたラッカムですが、挿絵本のブームが落ち着き始めた第一次世界大戦後の『シンデレラ』（1919年）からは、彼の試行錯誤の様子が見えます。また、遺作の『たのしい川辺』は、晩年の病気との戦いの中で描かれた、彼の集大成でもあります。イラストの背景にある画家のエピソードをご紹介します。



レズリー・ブルック画
『カラスのジョニーの
パーティー』
(1907年)

・同時代の画家の作品をご紹介します

ラッカム同時代に活躍したレズリー・ブルック、ロビンソン 3 兄弟の原画をご覧いただけます。ほかにも、『くまのプーさん』のシリーズで知られる E.H.シェパードや、ラッカムの後継となり、「ギフト・ブック」の画家として活躍したエドモンド・デュラック、カイ・ニールセンといったイラストをご紹介します。



カイ・ニールセン画
『太陽の東、月の西』
(1914年)

【お問い合わせ先】

ムーゼの森 軽井沢絵本の森美術館 【TEL】0267-48-3340【E-mail】info@museen.org
〒389-0111 長野県北佐久郡軽井沢町長倉 182（塩沢） FAX：0267-48-2006
企画展特集サイト <http://museen.org/event/>